

第 42 回原状回復対策協議会 (7 月 24 日開催) について

7 月 24 日に開催された第 42 回原状回復対策協議会内容についてお知らせします。

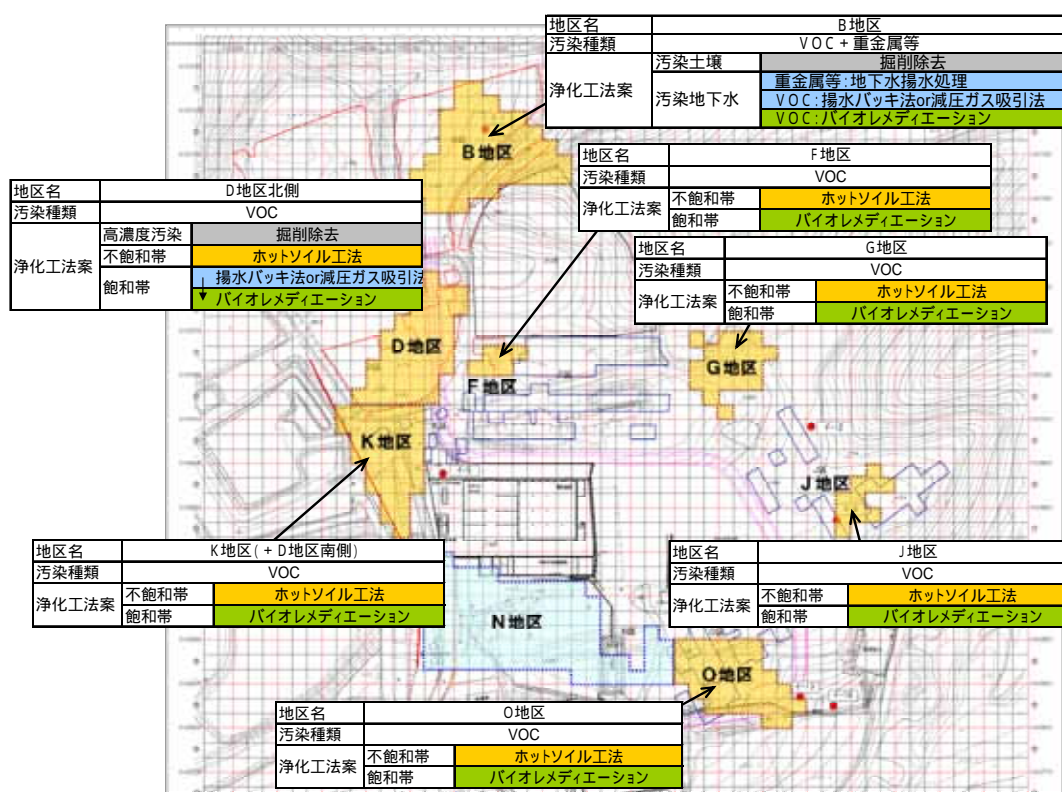
1. 廃棄物の撤去処分状況について

廃棄物の運搬・処分については、今年度の計画処分量 48,000t 全ての契約手続きが終了し、その搬出量は、下欄のとおり 7 月末現在で 15,328 t (進捗率 31.9%) となっており、昨年同時期と同様のペースで進んでいます。

また、掘削・選別については、今年度着手予定の D、F、J、O の 4 地区のうち、6 月までに D、J、O の 3 地区に着手しました。D 地区で確認されたドラム缶については、昨年度の 282 本に引き続き、本年度は 8/5 現在 216 本を撤去しています。撤去跡地の周辺土壌は、ジメタ等の有害物質による汚染が確認されています。

2. 汚染土壌対策について

今年度は、N 地区以外で土壌汚染が確認された 7 地区については 10 月を目処に汚染土壌対策工事に着手する予定ですが、その対策(案)の内容は次のとおりです。



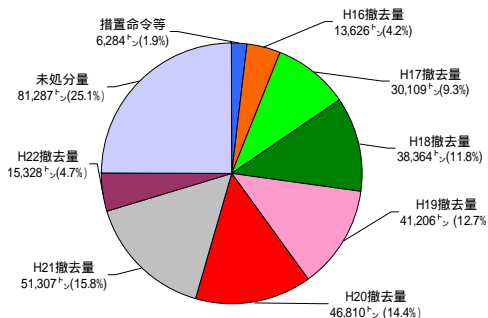
各浄化工法の概要

掘削除去法
・汚染土壌を掘削搬出し、外部処理
ホットソイル工法
・掘削した汚染土壌に生石灰を混合し、反応熱によりVOCを揮発処理
揚水バッキ法
・汚染地下水を揚水し、ばっ気処理
減圧ガス吸引法
・飽和帯の汚染地下水を吸引、不飽和帯とした後、減圧下でガス吸引
バイオレメディエーション
・土壌中の微生物を活性化させVOCを分解除去

廃棄物の撤去状況について (平成 22 年 7 月末現在)

表: 22年度の月別撤去量

月	撤去量(トン)
22年4月	538
22年5月	2,929
22年6月	5,603
22年7月	6,257
合計	15,328
平成22年度撤去目標	48,000トン



7 月末までに、岩手県側の推定総量 324,320 トンのうち、243,033 トン (75%) を撤去しました。

撤去状況の数字は、小数点以下の端数処理をしているので、合計値が合わない場合があります。